



難波 昇一會長



難波 俊輔社長

独自開発のフロン漏えい検知システム・Fire on Keeper(以下フロンキーパー)を展開するナンバ(社長II)は今や自社開発のフロンキーパーを同社の代名詞としながら全国区となりつつある一方で、キラー製品、または入口商材として地域商圏では優位性を発揮している。

ナンバは総合設備工事業として管工事業、一般建設業の資格を保有し、冷凍・冷蔵、空調、電気・給排水衛生設備工事と保守を軸足に事業展開を行っている。

先頃、6月3日には新潟市内に本社を置き、1950年(昭和25年)に創業した古参の冷設業者である新冷工業と資本業務提携を行いグループ化した。

当時、この資本業務提携については両社の相乗効果、業務連携による効率化、採用力の強化などを打ち出していくものとしていた。

今後の展開について難波俊輔社長に聞いた。「6

月3日以降、約3ヵ月をかけて、お客様、取引先、協力業者、金融機関などへ挨拶まわりを行ってまいりました。スマートな移行が図られたものと認識しています。一様に新冷工業の去就については心配をされましたが、安心と理解を示して頂いた。現在は各種経費の見直しや出先の重

きなりつつある一方で、キラー製品、または入口商材として地域商圏では優位性を発揮している。

ナンバは総合設備工事業として管工事業、一般建設業の資格を保有し、冷凍・冷蔵、空調、電気・給排水衛生設備工事と保守を軸足に事業展開を行っている。

2019
空調冷熱

新潟特集

フードシステムソリューション展の同社ブース

い検知システム・Fire on Keeper(以下フロンキーパー)を展開するナンバ(社長II)は今や自社開発のフロンキーパーを同社の代名詞としながら全国区となりつつある一方で、キラー製品、または入口商材として地域商圏では優位性を発揮している。

ナンバは総合設備工事業として管工事業、一般建設業の資格を保有し、冷凍・冷蔵、空調、電気・給排水衛生設備工事と保守を軸足に事業展開を行っている。

複の修正などを進めていく段階」とし、例えればナンバは本社を中心・長岡へ、新冷工業は下越・新潟にそれぞれを配置して

複の修正などを進めていく段階」とし、例えればナンバは本社を中心・長岡へ、新冷工業は下越・新潟にそれぞれを配置して

複の修正などを進めていく段階」とし、例えればナンバは本社を中心・長岡へ、新冷工業は下越・新潟にそれぞれを配置して

る。一様に新冷工業が長年実績を積んできたフロアE2、また新冷工業が長年に亘り開拓してきた地域組には安心と理解を示して頂いた。現在は各種経費の見直しや出先の重

きなりつつある一方で、キラー製品、または入口商材として地域商圏では優位性を発揮している。

複の修正などを進めていく段階」とし、例えればナンバは本社を中心・長岡へ、新冷工業は下越・新潟にそれぞれを配置して

複の修正などを進めていく段階」とし、例えればナンバは本社を中心・長岡へ、新冷工業は下越・新潟にそれぞれを配置して

複の修正などを進めていく段階」とし、例えればナンバは本社を中心・長岡へ、新冷工業は下越・新潟にそれぞれを配置して

複の修正などを進めていく段階」とし、例えればナンバは本社を中心・長岡へ、新冷工業は下越・新潟にそれぞれを配置して

資本業務提携でシナジー確立を

ナンバ
戦略部設立で
プランディング

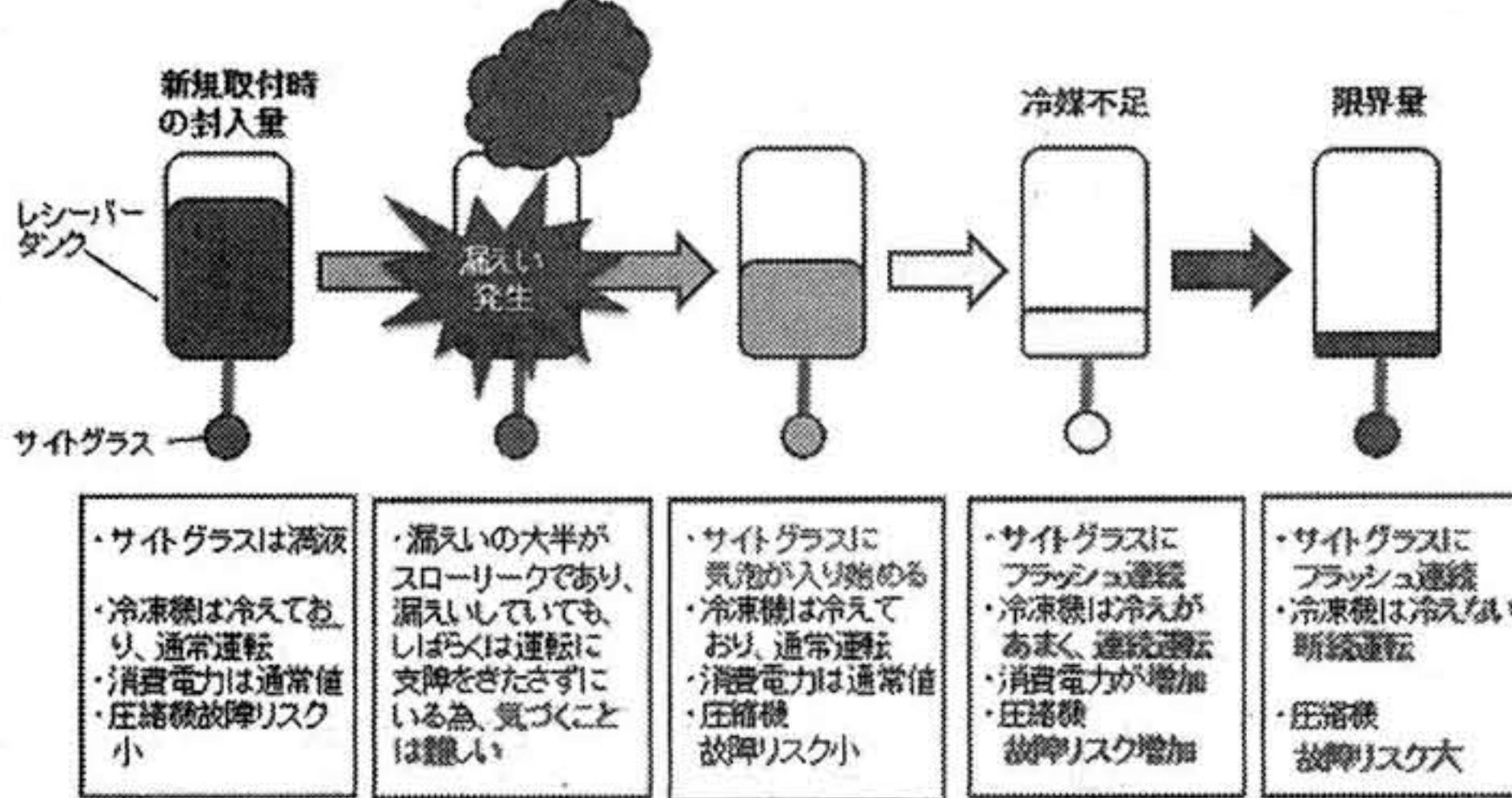
“発信力”強化も

複の修正などを進めていく段階」とし、例えればナンバは本社を中心・長岡へ、新冷工業は下越・新潟にそれぞれを配置して

同社によるフロン漏えいに伴う
冷凍機への影響の図式

の状況を判
つて漏えい

漏えいの状況を判
つて漏えい



フロンキーパーは冷凍設備から漏えいが進むと発生するフランジガスを超音波センサーで検知し、そのフランジガスの発生率によつて漏えい



検知が可能となるため、無駄な電力消費を抑えることができる」とPRしている。

2019年
空調冷熱
新潟特集

さて自社開発製品をASEANにおいて展開した先進的なナンバの取り組みは今後の同社の事業軸へも作用していくことは確かだろう。

現在、同社は社内において「プランディング戦略部」を設置し外部発信に限らず、社内における社員教育や採用といったテーマについても同部が介在して、ナンバにおける将来像を描こうとしている。そのうえで現状のテレマについても同部が

10年後を創造しつつ、例えればNEDO事業で実効的な電力使用を抑え、温

度な電力使用を抑え、温室効果ガス排出削減にも対応して、早くも実現した。そこで、NEDOは「IoT技術によってマレーシアと日本、直線距離にして5千137キロ(凡そ3千192マイル)といつた空間で様々な測定データをリアルタイムで一括集中管理をして、早期の漏えい検知と適切な修理対応を行うことで過度な電力使用を抑え、温室効果ガス排出削減にも対応する。具体的には、漏えいはゆっくりと進行し、事態に気が付くまで過剰な電力(最大で59kW)を消費し続けることがある。

漏えいしている。一般的に漏えいはゆっくりと進行し、事態に気が付くまで過剰な電力(最大で59kW)を消費し続けることがある。

こうした状況は専門業者の間でも殆ど認識されていながら現実で、同社のフロンキーパーでは10倍程度の漏えい時点であるところだ。